

ふじかわ

1 月号 昭和60年1月20日発行 No. 282

町のメモ

昭和60年1月1日現在	
人口	16,985人
増減	-15人
男	8,343人
女	8,642人
世帯数	4,391世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



227人が 大人の仲間入り

(第34回成人式)

町のこころの目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

おもな内容

- 2～3 ページ 町長の年頭のあいさつ、議長
の年頭のあいさつ、町消防
防団・三町消防連合出初式
が盛大に
- 4～5 12月定例会、あたたかい善
意ありがとう
- 6～7 はたちの春おめでとう
- 8～9 広報ディスカッション
- 10～11 ママさん記者取材中
- 12 戸籍の窓、一里塚、お母さ
んの知恵袋、俳句会

富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって
郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで
豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて
明るい家庭をきずきましょう。
1. わたくしたちは、奉士につとめ、力をあわせて
住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって
町の未来をひらきましょう。

あけましておめでとう
あけましておめでとう

富士川町長 常葉 雅文



新年おめでとうございます。

私は町長就任後七年目の正月を迎え、初心にかえり、富士川町の発展と行政改革を進めるため「勇気と決断」をもって、町政に取り組む決意を新たにしました。

昨年10月から12月にかけて、「町政を語る町民との集い」を町内三十一会場で開催し、みなさんの積極的参加を得て、町づくりについての貴重なご意見を受け賜り、今後の行政運営に生かして行く所存です。

本年は、第一次総合計画の最終年度であり、また、二十一世紀を展望し、昭和70年を目標に



した第二次総合計画策定の重要な年です。手づくりの計画にするため、役場内に於ては、職員による策定会議で素案を練り、議会代表、各種団体長、学識経験者による総合計画審議会でご審議をいただき、議会の承認により、正式に計画が決定されました。計画作りの参考資料にするため、昨年、住民意識調査を実施し、その結果については、「町政を語る町民との集い」でご説明申し上げたとおりましたが、町民の要望を満足させることのできる計画にしたいと思っております。これからは、新しい物をつくる時代から有る物を生かす時代、物と物とを有機的に結びつけ、有効に利用するシステムの時代の代わり変わってきます。行政の手法も当然、従来の慣例にとらわれず、新しい発想で行われなければなりません。富士川町は幸いにして、自然に恵まれて

をお願いします。
みなさんが待ち望んでいた中央公民館の建設工事は、現在順調に進んでいます。11月の文化の日に開館予定ですので、町の文化活動の拠点として、大いに利用していただきたいと思います。

新幹線富士駅設置は、同駅新設のための運動の成果が実り、昭和62年開駅をめぐり準備が着々と進んでいることは、当町にとっても大変喜ばしいことです。

富士川橋を中心とした渋滞解消対策も進めてきましたが、橋の部分拡幅と坂下地区の交差点改良工事を行う県の施策が決まりました。60年に調査、61年・62年の二カ年で工事を行う予定とのことです。

富士川身延線バイパス路線の用地買収が遅れています。60年度で松野地区の全面買収の予算獲得の目度がたちましたので、関係地主のみなさんのご協力をお願いいたします。

今年「笑顔であいさつ 明るい町に」が、本年も引き続き実践していただくことになりました。家庭・地域・職場で目標に向かって努力しましょう。

諸施策のまとめの年に

富士川町議会議長 望月 好猷



昭和60年の新春を迎え、議会を代表し、町民のみなさまに新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、議員定数問題につきまして大変お世話になりました。このことにつきましても、議会議長より「芙蓉新年号」にて詳細のご報告をいたします。

さて、国の財政も百兆円を超える大幅赤字で、この再建のため国も地方も、また、社会観念も行革一色であります。また、戦後四十年平和が続く環境に甘え、精神面の心配から本年度は教育改革も実施されるものと思われまます。

この中であって、わが富士川町は年とともに発展の一途を辿っており、誠に喜ばしい限りであります。中央公民館の着工、

庵原斎場の60年度の建設決定、富士川橋の一部改良拡幅、富士川身延線バイパスの松野地区用地全面買収の推進、共立蒲原総合病院開院二年を迎えるの諸問題、県営住宅団地の完成、その他道路、下水など諸問題が山積しております。本年は、これから諸事業の総決算の年であると考えております。

私も議会も重要認識の上立ち責任の重大さを痛感いたします。私ども議会も重要認識の上立ち責任の重大さを痛感いたします。

町当局と議会と両輪となつて山積している課題を克服、不滅の富士川町繁栄のため職責をはたす所存であります。何卒町民のみなさまの力強いご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後にになりましたが、町民のみなさまの益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

町消防団

庵原郡三町消防連合出初式が盛大に

1月7日(月)町立第一中学校校庭で、午前7時から町消防団(久保田敏男団長・団員百二十八人)出初式が、また、午前9時から庵原三町の消防団員や消防署職員三百三十一人、車輛二十一台が出動し、消防連合出初式が、引き続き正午から駅前パレードが盛大に行われました。

- | | | | | | | |
|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-------------|-------------|
| 第一分団
佐藤 忍 (四十九町) | 第二分団
益木 康夫 (相生町) | 第三分団
星野 弘 (相生町) | 第四分団
二又川孝則 (八幡町) | 第五分団
小林 章文 (南町二) | 清水 順次 (南町二) | 伊藤 光男 (大北町) |
|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-------------|-------------|



新入団員のみなさん



消防団員による一斉放水

昇進団員のみなさん

- | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------|--------------|--------------------------|------------|-------------|-------------|------------------------|----------------------------------|--------------------|
| 本部長
芦川 清司 (第三分団長) | 常盤 博昭 (副分団長) | 望月 光男 (副分団長) | 賞状及び銀杯の伝達
佐野 静嘉 (大北町) | 芦川 達雄 (木島) | 高岡 公男 (清水町) | 故勝又 朗夫 (上町) | 永年勤続功労章
加茂 徳平 (本通二) | 日本消防協会会長表彰
精績章
佐野 静嘉 (大北町) | 勤続章
加茂 徳平 (本通二) |
|----------------------|--------------|--------------|--------------------------|------------|-------------|-------------|------------------------|----------------------------------|--------------------|

- | | | | | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------------------------|-------------------|
| 特別功労章
小永井輝雄 (川坂) | 常盤 博昭 (木島) | 古木 梅三 (新町) | 望月 偉男 (木島) | 朝比奈 昭 (俣下町) | 小林 義美 (富士見町) | 町長感謝状贈呈
植松 容子 (相生町) | ほてい缶詰株式会社
大北町区 |
|---------------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------------------------|-------------------|

12月定例会

農林水産業費や消防費などに
四千九百七十五万円を補正
予算総額は二十八億八千二百二十五万円に

町議会の12月定例会が、12月20日(木)午前9時から議場で開催され、常葉雅文町長の一般行政報告を皮切りに、昭和59年度富士川町一般・国民健康保険特別・土地所得特別会計補正予算、富士川町電子計算組織の運営に関する条例の制定について、富士川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、蒲原町外二町隔離病舎組合の解散についてなど十一議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

町議会の12月定例会が、12月20日(木)午前9時から議場で開催され、常葉雅文町長の一般行政報告を皮切りに、昭和59年度富士川町一般・国民健康保険特別・土地所得特別会計補正予算、富士川町電子計算組織の運営に関する条例の制定について、富士川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、蒲原町外二町隔離病舎組合の解散についてなど十一議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

町長の一般行政報告

常葉町長は一般行政報告に入る前に「国・地方をとりまく厳しい財政事情の中にあつて、みなさんのご理解とご協力をいただき、事務事業も順調に執行されています。昭和60年度は、県事業の富士川身延線バイパスの用地買収、中野住宅団地造成、富士川橋改修事業等の基幹事業と第二次総合計画策定年度を考えると大きな節目であり、一層の総意を結集します」と60年度に向けての基本方針を語りました。

国道一号富士川橋の架け替え交通渋滞解消対策について このことにつきましては、去る9月定例会における行政報告の中で、県が9月補正で調査費を計上したことを申し上げましたが、その後の経過につきましては報告します。

橋西端坂下寄りの交差点改良計画については、去る12月18日の組合全協において、三町の合意により、了承されましたので報告します。

行政改革の推進について 行政改革の推進につきましては、去る9月定例会における一般質問の中で、私の基本的取組の考え方につきましては申し述べたところですが、その後経過と当面する60年度予算編成に向けての方針について申し上げたいと思ひます。

し造成工事を進めざるを得ない現状となりました。

が落札し、10月15日起工式を行い、現在、基礎コンクリート打ちが終り、工程どおり昭和60年9月完成に向け工事が順調に進展しています。

につきましては、去る12月18日の組合全協において、三町の合意により、了承されましたので報告します。

また、持ち家十五戸につきましては、すでに一戸の移転が完了し、現在十四戸につきましては、現在折衝をしています。しかしながら補償額について交渉が難航していますが、十分話し合いを続け問題解決に向かって、県当局とともに努力しています。

本事業は、59・60年度二カ年継続事業であり、備品購入費造園工事等を含めると総額約八億円を要する大事業であり、町議会、特別委員会のご協力をいただきながら、町におきましても建設対策会議主管課を中心として各課全機能をあげて、これに取り組んでいるところであります。

行政改革の推進について 行政改革の推進につきましては、去る9月定例会における一般質問の中で、私の基本的取組の考え方につきましては申し述べたところですが、その後経過と当面する60年度予算編成に向けての方針について申し上げたいと思ひます。

未買収地があり、現況のまま残さざるを得ない箇所が生じていますが、当初計画より二年も遅れていることもあり、昭和61年度分譲開始にあわせ、持ち家移転問題もありませんが、工事可能な箇所から順次造成工事を行い、60年度には終末処理場の建設と造成工事の完了を目指し、事業の進展を期しているところであります。

本事業は、59・60年度二カ年継続事業であり、備品購入費造園工事等を含めると総額約八億円を要する大事業であり、町議会、特別委員会のご協力をいただきながら、町におきましても建設対策会議主管課を中心として各課全機能をあげて、これに取り組んでいるところであります。

行政改革の推進について 行政改革の推進につきましては、去る9月定例会における一般質問の中で、私の基本的取組の考え方につきましては申し述べたところですが、その後経過と当面する60年度予算編成に向けての方針について申し上げたいと思ひます。

昭和60年度を目標年度とする第一次町総合計画の中で、町民の文化活動の一大拠点として建設が位置づけられている中央公民館建設につきましては、去る10月4日指名競争入札の結果、建築主体工事を六億二千四百万円で、平和・若月・佐野建設共同企業が、舞台設備工事を七千四百九十万円で、(株)竜電社

が落札し、10月15日起工式を行い、現在、基礎コンクリート打ちが終り、工程どおり昭和60年9月完成に向け工事が順調に進展しています。

につきましては、去る12月18日の組合全協において、三町の合意により、了承されましたので報告します。

中央公民館の建設について 昭和60年度を目標年度とする第一次町総合計画の中で、町民の文化活動の一大拠点として建設が位置づけられている中央公民館建設につきましては、去る10月4日指名競争入札の結果、建築主体工事を六億二千四百万円で、平和・若月・佐野建設共同企業が、舞台設備工事を七千四百九十万円で、(株)竜電社

が落札し、10月15日起工式を行い、現在、基礎コンクリート打ちが終り、工程どおり昭和60年9月完成に向け工事が順調に進展しています。

につきましては、去る12月18日の組合全協において、三町の合意により、了承されましたので報告します。

建設主体工事を六億二千四百万円で、平和・若月・佐野建設共同企業が、舞台設備工事を七千四百九十万円で、(株)竜電社

が落札し、10月15日起工式を行い、現在、基礎コンクリート打ちが終り、工程どおり昭和60年9月完成に向け工事が順調に進展しています。

につきましては、去る12月18日の組合全協において、三町の合意により、了承されましたので報告します。

一般会計の補正予算

- 議会費へ 六百十一万円
総務費へ 一千二百四十六万円
民生費へ 五百六十一万円
衛生費へ 二百八十八万円
農林水産業費へ 一千八百九十九万円
地場野菜特約産地育成事業補助金

12月8日には、木部建設大臣に19日は山本県知事に對し陳情を行い、早期実現に向けて努力しています。

60年度においては、馬坂トンネルまで松野地区全域の全面用地取得ができるよう総額約三億円余りの予算面についての見通しがつきましたので、松野地区県道バイパス建設促進期成同盟のみなさんのご協力をいただきながら、59年度末にかけ路線の決定と地主のみなさんのご理解とご協力を得て、年度内に用地の取得についての内諾をいただけるよう努力したい所存です。

この事業につきましては、昭和55年から四年を経過しては、この間、みなさんのご協力をいただき感謝しています。

現在、計画面積十六万平方メートル、九十七軒十五万六千平方メートル、二十九人の地主のみなさんのご協力をいただきましたが、残念ながら未買収地は約四千五百平方メートルとなり、三人のみなさんにつきましては、現況のまま残

あたたかい善意ありがとう

「みんなそろって明るいお正月を」をスローガンに、昨年12月いっぱい歳末助け合い運動が行われた結果、みなさんから次のような暖かい善意が寄せられました。

- ◎昭和59年歳末助け合い運動募金状況
一般世帯(三十二区) 八十五万九千八百八十八円
支援団体(六十二団体) 百二十六万七千六百八十八円
支援者(十三人) 八万四千七百七十五円
その他四万四千八百六十一円
総額 二百二十五万六千二百七十二円
物品
紙おむつ、雑布、石けん、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、紙作品
◎募金はこう使いました
野外施設(三十六カ所)・施設入所者(六十四人)へ 五十万円
町内低所得世帯・在宅障害者(八十八人)などへ 九十万三千百円
町内五団体、その他へ 八十五万三千七百七十二円
物品は町内十三人に配分

はたちの春 おめでとう 成人式が盛大に



増田 達哉 さん
(新町本町)

1月6日(日)町立第一小学校
体育館で、第三十四回富士川町
成人式が、成人者二百二十七人
の約七十四割にあたる百六十七
人、来賓約五十人が出席し盛大
に行われました。
今後も式典はパーティ形式で
行われ、増田達哉さん、深沢美
知子さんが、力強く「はたちに
思う」を述べた後、成人者を代
表して、増田・深沢さんに常葉
町長から記念品のアルバムや成
人者に贈ることが贈られました。
その後は、熱いコーヒート
ケーキを前に、青年団のアトラ
クションと一緒に歌をうたった

はたちに思う

り、中学時代の恩師を囲み、思
い出話を花を咲かせながら、互
いにはたちの春を喜びあいまし
た。
また、この日には、この前途
ある若者たちに幸多かれと、恒
例の各区対抗駅伝競走大会が町
内十二・二歳のコースで行われ
寒風について力走する十チーム
の選手に、沿道から暖かい声援
がおくられていました。
一位 南町一・二区 34分57秒
二位 北松野二区 35分43秒
三位 宮町A 35分53秒

「光陰矢の如し」、「歲月人を待
たず」という言葉がありますが、
今日成人式を迎えた私たちの気
持は「早いな」の一言に尽きる
でしょう。思えば二十年前、東
京オリンピックが開かれ、東海
道新幹線の開通した年にこの世

に生を受けた私たちが、こうし
て無事に今日の日を迎えること
ができたのも、周囲の方々の温
かいご指導や父母の愛情があつ
たからこそです。この二十年、
日本は敗戦国の名を覆うに余り
ある経済大国となりました。そ
の高度成長の中で育った私たち
は、何不自由なく大きな苦勞も
知らず、平和な毎日を送り、幸
せだといつてよいと思います。
しかし、戦争という生きるか死
ぬかの修羅場を経験した方から
みれば、のんびりとして、欲の
なさすぎる私たちの生き方は物
足りないかもしれません。確か
に、一度きりの人生をがむしゃ
らに生きるのもいいでしょうが
このせちがらい世の中では、時
代にあった、そして、余裕のあ
る生き方がベストだと思います
ただ、自分の中に何らかの目標
を抱くことは忘れてはならない
ことです。人間は弱い生き物で
す。目標なしに生きようものな
ら、たちまち時代の波にのまれ
てしまふでしょう。その波を乗
り越え、社会のニーズに応える
のがこれからの私たちに課せら
れた役割なのです。例えば私は
教師になる可能性が高いので
が、教育の荒廃が叫ばれる中で、

昭和60年 町のここの目標

「笑顔であいさつ
明るい町に」

昨年の12月14日役場で、町
局、議会、各種団体長が出席
し、「町のここの目標実行
委員会が開かれ、昭和60年の
町の目標は、五年連続して「笑
顔であいさつ明るい町に」に
決まりました。

実施状況や反省点の発表で
は、「ここの目標も以前より
かなり浸透してきて、あいさ
つができるようになったが、
まだ未端までいっていない。
子どもはよくするが、大人は
どうしても実行できない人が
ある」などの意見が出され、
つづいて目標の選定では「マ
ンネリ化という声もあるが、
この目標は基本的なものであ
り、今後も続けた方がよい」
などの意見が多数出され、熱
心に討議を重ねた結果、「笑顔
であいさつ明るい町に」に決
まりましたが、この目標は60
年で終ることになりました。
また、各区でも、地区で実践
できるものを決めて推進して
いくことになりました。
今後、同委員会では、目標

昭和60年 ここの目標

笑顔であいさつ 明るい町に

富士川町・富士川町教育委員会
富士川町コミュニティ推進協議会

実践のため、チラシを印刷し、
各世帯に配布して、町内全域で
くまなく町の目標を浸透させ
いき、明るい町づくりを進め
ていきます。

少なくとも善悪の判断がしつか
りした、子どもらしい素直さを
持った人間を育てたいと思いま
す。

これからはもう十代の時のよ
うな甘えは通用しないでしょう。
何となく寂しい感じもするけれ
ど、もう私たちは十代へ戻るこ
とはできないのです。振り返れ
ば確かに十代の日々がよみ返っ
てきます。しかし、今日私たち
は十代の明かりを消すと共に、
二十代へ希望に満ちあふれる光
を灯し、一歩一歩前進してい
たいと思います。私たちが一人
前といわれるようになるまで、
まだ何年かかるでしょう。こ
れからもよろしくご指導願いま
す。そして、私たちが社会の担
い手となった時、子どもたちが
このような素晴らしい席に出席
できるような世の中であつたら
最高だと思えます。



深沢美知子 さん
(大北町)

成人という言葉聞いて、私
はまず「自立」を連想します。

二十歳ともなれば自立しなければ
ならない歳なのでしょう。し
かし、私自身振り返ってみます
と、学生として経済的な自立は
仕方ないとしても、精神的にあ
まりにも人を当てにすぎている
ような気がします。自分の身
の周りのことから家庭での役割
学校の勉強、広くは社会問題に
関してまで「誰かが何かしてく
れるだろう」と他人へ依存して
しまい、主体的な解決を怠って
きました。ですから、二十歳と
いう節目に、精神的自立をめざ
そうと思います。

現代の風潮としてモラトリア
ム人間が多く、その方が楽に
やっていきます。私もその中の
一人でした。しかし、二十歳に
なったことをいい機会に、そこ
から脱出しようと思います。
私たちをここまで導いてくだ
さった諸先生方、諸先輩、また
両親に心から感謝いたします。
そして、今後共よろしくご指導
をお願いいたします。

また、「自分を大切にすること」
と「も心掛けたいと思います」
それは決して利己主義に走るの
ではなくて、自分を大切にし、
よく見つめることで、自分の正
体や求める方向、欠点なども自
らと明らかにし、向上心が湧

昭和59年 蒲原警察署管内の交通事故発生状況

路線別	全事故		死亡		傷者	
	件数	人身事故	件数	人数	件数	人数
国道一号線	19	25	1	66	79	81
富士由比バイパス線	25	14	0	118	0	0
富士川身延線	12	16	0	52	0	0
一般県道	4	7	0	55	0	0
その他	19	25	0	52	0	0
計	77	107	1	343	79	81

事故種別	事故		死亡		傷者	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
歩行者	10	10	0	9	74	71
自転車	5	3	0	1	2	2
幼児	2	2	0	2	0	0
小児	2	2	0	2	0	0
小学生	5	5	0	5	0	0
中学生	0	1	0	0	0	0
高校生	1	1	0	1	0	0
老人	5	11	0	5	0	0
無免許	0	0	0	0	0	0
飲酒	5	2	0	5	0	0
自動車	5	4	0	5	0	0
原動機付自転車	9	16	0	9	0	0
計	77	107	1	343	79	81

注：() は前年の数字

事故種別	事故		死亡		傷者	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
歩行者	10	10	0	9	74	71
自転車	5	3	0	1	2	2
幼児	2	2	0	2	0	0
小児	2	2	0	2	0	0
小学生	5	5	0	5	0	0
中学生	0	1	0	0	0	0
高校生	1	1	0	1	0	0
老人	5	11	0	5	0	0
無免許	0	0	0	0	0	0
飲酒	5	2	0	5	0	0
自動車	5	4	0	5	0	0
原動機付自転車	9	16	0	9	0	0
計	77	107	1	343	79	81

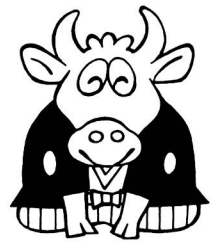


初めて迎える私の年

初めまして、丑年生まれというわけでは... 丑は十二支の中でも、縁起のよい動物だと思ひます。...

二つの目標を柱にして 一歩前進しようと思ひます

一 小五年 望月菜穂子さん 私は今年、初めて自分の年をむかえました。生まれてから、十二年過ぎたという事になりました。...



二つは、最上級生になるので、委員会やクラブ活動を一生けんめいがんばります。特に委員会では、学校のためにつくしたいと思ひます。...

六年生になって こんなことをしたい

一 小五年 谷津倉祐可さん わたしは六年生になってこんなことをしたいな、と考えました。...

うし”年に思う

私と小学校五年の娘とは、ふたりともうし年です。のんびり屋の娘に「今年は何にしたい」と聞いてみると「何にでもうしのようにねばり強く挑戦したい」と素晴らしい答えがかえってきました。...

投稿者へ

2月のテーマ わが母校・恩師 40字づつ原稿用紙一枚以内 締切日 2月5日(火)まで 投稿先・問合せ先 富士川町役場総務課 岩淵四番地



望月益雄さん (67) (上町)

教えを受けた恩のある先生となると、人は長い人生において多くの先生のお世話になっており、それぞれの感謝と懐かしきものもつて

2月のテーマ わが母校・恩師

昔のゆえ何かも現在とは比較にならない時代であったが、よく遊んだものである。小学四年・五年と受け持たれたあと、六年生になって遊んではかりおられず進学勉強に入ったものだが、どちらかといえば、先生の方が一生懸命だったように思える。

私の今年の目標

二 小五年 望月佐知子さん 今年はどうし年。私の年です。牛はゆつたりとおおらかな動作がとってもかわいと思ひます。...

友だちと仲よく勉強、運動 お手伝いがんばります

二 小五年 大石洋美さん モウー、モウー、私は昭和48年4月生まれのうし年です。小さい時、私は人間なのに、なぜうし年だろうと不思議でなりませんでした。...



命にクワンクン話します。犬も、うしも、人間も一生懸命になることは同じだと思ひます。言葉がお互いにつうじ合えば、どんなに楽しいでしょう。...

ママさん記者が取材中



「富士川町みのり会」

三十三人で終身会員です。婦人会の第一線を退いた後もお役にたきたいという意欲的な声で結成され、斉藤さんは、昭和38年から長年にわたって会長を務められています。

同会の活動は、婦人会の側面的な協力と会員相互の親睦が目的で、一番おもな活動は、結婚相談です。総会は3月に行われ、会費と助成金で運営されています。また、清庵みのり会との合同も月一回行われ、情報交換などをしながら連絡を取り合っています。独自の会合は、毎月21日に開かれ、会員が資料や情報を持ち寄り行われています。

結婚の申し込みは月平均すると、六、七件あり、59年度は、4月から12月までの間に三組の結婚がまとまりました。申し込まれる方は地区会員に身上書と写真をお持ちください。秘密は厳守されますので、積極的に同会を利用して欲しいと望んでいました。

今まで多くの方々をお世話してきた経験から「背伸びをしないいつもの自分を、相手によく見てもらうことが一番大切です」と話していました。飾らずありのまま



斉藤会長さんにインタビューする
広報モニター

▼社会教育（地域学習の課題）▲

高齢化社会を考える（一）

高齢化社会に関する問題は今日の日本がかかえている最も深刻なひとつといわれます。日本人の平均寿命は、男七十四歳、女七十九歳と世界に冠たる長寿国で大変喜ばしいことです。自己の健康管理、生活改善、医学薬学の進歩等によるこの平均寿命の伸長は単にそのことだけにとどまらずに、今後深刻な影を落としています。

解決できない問題ばかりです。例えば、年金受給者は今の十倍に増え、負担者にかかる重荷は大変なものです。また、寝たきり老人は実に一千万人を超えるといわれています。高齢化社会は確実にやってきます。そして、人は必ず「老い」を迎えます。その意味で、この問題は国家的、国民的課題であると同時に、国民ひとりひとりの個人としての課題であるといえます。

避けられない「老い」に立ち向うためには現在すでに高齢者の方々がかりではなく、向老者、中青年者も深刻に受けとめ、対応を考えていくと同時に、各年代層に応じた生活課題、学習課題を決め、人間として強く生きぬくために、積極的に立ち向うほかはありません。

自分が、あるいは自分の周囲の人がそうだった時の混乱をさけるために、常に自分の問題として心にとどめておかねばならないと思います。

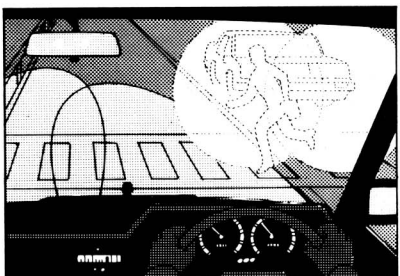
等々、いづれも一朝一夕には

家族で話し合おう

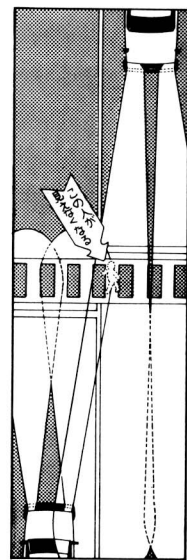
ヘッドライトの「幻惑」

図解交通安全

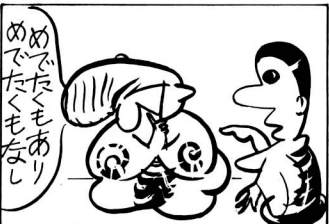
車のヘッドライトは、夜道を明るくし、安全を確保する大切な装置です。しかし、時としてドライバーの目を幻惑させる「危険な装置」に変わること



あります。そのひとつに「蒸発現象」といわれるものがあります。この現象は、夜間の走行時、自分のヘッドライトに照らし出されていた横断中の歩行者が突然見えなくなるというものです。原因は対向車のヘッドライトが上向きになっているとき、その光がこちらのドライバーの目に入り、一瞬目が見えなくなるために起こります。これでは、歩



行者の動きが見えなくなり、大変危険です。このような幻惑を防ぐためには、市街地など街灯のある所を走るとき、それぞれのドライバーがヘッドライトを下向きにすることが大切です。また暗い道でヘッドライトを上向きにしていても、対向車が見えたら必ず下向きにしてください。安全を確保するための装置を「ドライバーの目を幻惑させる装置」にしないために、最低限のマナーを守ってください。



まちの指定文化財(画)

木造聖観世音菩薩立像

彫刻 木造聖観世音菩薩立像
昭和57年3月13日指定
指定番号 第11号
所有者 光福山新豊院
像高134.5cm

彫りの垂髪・地髪は、補修の際の厚手の塗りのため不明ですが、まばら彫りではないでしょうか？

本像は、彫眼され、百毫相を現し、条帛を懸け、天衣は両肩から各上腕の外側を蔽い垂下していますが、両臂から下の垂下部は欠失しています。また、冠飾（後補）を戴き、左手は屈臂し五指を軽く曲げて蓮華（亡失）を執り、右手を屈臂し第一・二指を相捻じ、裳、腰布をつけ、直立した姿をしています。

全体に近世の粗悪な修理のために、その尊容が相当に歪められています。その尊容が相当に歪められていますが、それでも全体として藤原時代の端正な風格のある姿が、一皮下に想像できる貴重な作で、町の仏像の歴史を研究する上でも大変貴重な仏像です。



戸籍の窓

昭和59・12・15 12・31届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄	年齢
木島	松下光弘	好幸	長男
相生町	和田圭司	篤雄	長男
旭町	吉田愛	知己	長女
〃	望月頼美	正司	長女
新町本町	大石沙織	武光	二女
四十九町	清水拓哉	正隆	長男
〃	青木正俊	耕三	長男
木島	角替かつ江		六二

かなしみ

区名	氏名	年齢
富士松野	望月雅人	四郎 二男
〃	望月久美子	昇 三女
〃	清水町	木村藤子
〃	稲葉さと子	
俣下町	桐山スミエ	

一里塚



むかしから、日本には、「一年の計は元旦にあり」という諺があります。わが家は、毎年家族そろって神社へ初参りに行きま

す。健康で何事もなく無事です。ごせるように、それぞれの思い

を手に合わせて祈ります。神社には大勢の人々が列をつくり参

拝し、「おめでと〜うございます」と会う人ごとに挨拶を交わし新

年を祝います。

ちなみに、県内各地の神社仏閣に元日だけでも、ざっと百三万人の初もうで客でにぎわったということ

昭和も還暦という一つの節目を迎えた今日、元旦、二日とも

青空の広がる穏やかなあたたかい好天でした。

正月にみられる静かな平和な明るい一年でありたいと思ひ、また、これからの厳しい世の中に公私ともに、少しでも価値ある生き方をしたいと願います。

M・Y

相生町 花田忠太郎 七九

〃 望月實雄 五〇

坂下 小林モヨ 八一

堺町 水野喜代松 八〇

宮町 小沢一雄 七六

小池 加藤富太郎 七九

東町一 若月みつ 八五

日の出町 大高和雄 五一

南町二 稲葉繁 六九

〃 望月啓作 四五

清水町 木村藤子 六〇

〃 稲葉さと子 五九

俣下町 桐山スミエ 七六

町への寄付金

(敬称略)

S 59・12・10 10・1・12
三十万円 児童福祉事業へ

渡辺光枝(新町)

百万円 中央公民館建設基金へ

花田勝(蒲原町)

善意銀行へ寄託

S 59・12・18 12・27

二千七百五十三円

小山美寿司会

四万円

立正佼成会富士教会青年部

二万円

駿河青年会議所

お母さんの知恵袋

知恵袋

クレジットカード返済のしくみ

カードで商品を買った場合、支払いはどうなっているか、ご存じですか。

私たちが、カードで買い物をした場合、クレジットカードとつながっているため、売上票が送付され、クレジットカードが代金を立て替えて支払いをします

が、預・貯金から手数料というおまけつきで、代金が引き落されます。支払回数は――

銀行系カード→一回
信販系カード→一回払いと分割
流通系カード→一回払いと分割

クレジットカードを上手に使うためにどっちが得か、良く考えてみましょう。

1 契約書を先ず良く読みましよう。

2 クレジットカードで買ったものを、家計簿やメモ帳などに書いておく。

3 月収十万円の場合は二万円返。4 金利を考えよう。十八割の場合、一年間で一万八千円になる。

5 カードをなくしたら、すぐカード会社に連絡する。



文協俳句会

宮町 増井 冬木

湖澄んで初富士影を誤たず

富士へ向け今日も五千歩下萌ゆる

大北町 天野 たま

年忘れ忘れずに飲む百草丸

山彦を返へさずに山眠りけり

南町二 法月 幸子

湖のさざ波やさし浮寝鳥

吊し柿の影を障子に年用意

南町一 影島 智子

極月の山彦すぐに消へにけり

齊粥平穏すぎるを恐れけり

旭町 笠井みち子

山茶花や日和もことに役はたし

清水町 宇佐美裕子

ぐんぐんと主峰にせまる風のあり

南町一 田辺つぎ子

若水の勢い余る厨かな

南町一 上野みつ子

八重山は昏れぬ照葉に近くみて

南町一 上野 君江

年の差をつけて包みしお年玉

南町一 望月 洋子

三人子の進路それぞれ福寿草